

平成 29 年度 第 2 回 学校評議員会 概要

平成 29 年 12 月 14 日(木) 10:00~11:45

神戸市立桜の宮小学校 会議室

1. 出席者

内原 政男(桜の宮連合自治会会長)	相川 光一(桜の宮ふれあいのまちづくり協議会会長)
吉川 庸一(北鈴蘭台自治会長)	足立 義明 (桜の宮児童を守る会)
平馬 廣子(桜の宮児童を守る会)	平田 勝彦 (施設開放委員会)
笠 かおり(桜の宮小学校・P T A会長)	宇山 美樹(桜の宮小学校 P T A副会長)
坂本 弥生(桜の宮小学校 P T A副会長)	藤原 久恵(桜の宮児童館館長)
岡田 妙子(桜の宮保育所長)	大内 康弘(桜の宮小学校校長)
小林 剛司(桜の宮小学校教頭)	

【敬称略】

2. 次第

- ・はじめの挨拶 (大内校長)
- ・自己紹介
- ・平成 29 年度桜の宮小学校全国学力状況調査結果および改善について
- ・2 学期の学校行事から～5 年生兵庫県立神戸特別支援学校交流～
- ・中期いじめアンケートより
- ・教室の子どもの様子 (1～6 年授業参観)
- ・意見、質疑応答
- ・おわりの挨拶 (大内校長)

3. 平成 29 年度桜の宮小学校全国学力状況調査結果および改善について【学校だより 9 月臨時号参照】

4. 2 学期の学校行事から～5 年生兵庫県立神戸特別支援学校交流～

5. 中期いじめアンケートについて【学校だより 1 2 月臨時号参照】

6. 意見, 質疑応答

- 手紙の書き方を問う問題に課題があるとなっているが、学校で指導しているのか。
→国語で手紙を書く単元で学習したり、さくらっ子タイムの兄弟学年に音楽会などの行事の時に手紙を書く指導をしたりしています。機会を見つけて、これからも指導していきます。
- 神戸特別支援学校の学校評議委員をしている。桜の宮小学校のように他校でも交流を進めている。また桜の宮福祉センターにも来てもらっている。いろいろな人との交流を図りながら、特性を理解してもらい、共生できる力がつけばと思っている。また健常者と言われている側も交流を通して特性を認め共生していく気持ちを育てていければと思っている。こんな心情を培う取組は、いじめ対策にも効果があると思う。
- バス停のベンチが取り払われた。確かに幅をとっているのかもしれないが、ベンチがあるおかげで、お年寄りやハンディのある方が座ることができ、またベンチを基準に並ぶことができている。共生のまちづくりという視点からも、再設置を要望している。これからも、学校やPTAと連携しながらやっていかねばと思っている。
- いじめアンケートの中で「いじめをされた」が少なく、「いじめを見た」が多いのは、された側の意識が低いのではないのか。いじめに対する話し合いの場はどのようにもっているのか。
→毎月の職員会議の後、連絡会をもっています。会議は5時過ぎに終わりますが、連絡会は、6時半を回ることが多く、全職員が子供の気になることを出し合い、解決策をベテランの教員や本校在職年限の長い先生を中心に議論しています。
- 自分のことを親にも隠す子がいる。ある講習会で聞いた話だが、友達の頭を踏んづけて遊んでいた。この様子を目撃した母親が「これは許せない行為だ。先生に言う。」というと「これは遊びだし、いじめではないよ。お母さんが言うと『モンスターペアレンツ』と思われるから言わないでおいて。」と。子供たちはこんな意識なのだろうか。
→子供たちは先生や親など大人に言うことを「チクリ」と言っているようです。そんな言葉を聞いた時、「チクリは正義だ。」と言っています。この言い方は語弊があるのかもしれませんが。「いけないことを見つけた時に大人に言って指導を仰ぐことは正しい行為である。」ということを伝え、このことがあたりまえになるように広げていくようにしています。
- 校門警備をしている時、溝に猫が死んでいるのを見つけた子がいて、「寒かっただろうなあ。飼い主が心配しているだろうなあ。」とつぶやいていた。さくらっ子のそんな優しさを磨いてやってほしい。